

ヤングケアラー実態把握のための調査を実施 ～今後の取り組みの基礎資料として活用～

市では、令和3年度、市内のヤングケアラーの実態を把握するため、こうした家庭にかかわる可能性のある関係機関を対象に調査を実施しました。ヤングケアラー支援の取り組みは、始まったばかりであり、今回の数値が正確な実態を示しているとは言い難いですが、一定数のヤングケアラーが市内にもいることが明らかとなりました。この結果を受けて、今後「ヤングケアラー支援対応連絡会」を中心に、支援体制の整備に向けた取り組みを行ってまいります。

1 調査の目的

ヤングケアラーへの認識度や、ヤングケアラーの実態を把握し、普及啓発事業や支援策を検討していくための資料とする。

2 調査の概要

- (1) 対 象 児童や家庭に接触する機会の多い関係機関 24種の機関（団体）
（市立小中学校、民生委員、高齢・障がい事業所など）
- (2) 期 間 令和3年12月8日～28日（最終回収1月14日）
- (3) 協力者数 344事業所（団体） 1,724人が回答

3 主な調査結果（上位回答）

調査内容	結 果
ヤングケアラーと 思われる子どもの数	延べ93世帯、116人
年代	①中学生60人 ②小学校高学年30人
世帯構成	①母子世帯が55% ②両親ときょうだいの世帯34%
ケアをしている家族	①弟妹38% ②母32%
ケアの内容（複数回答）	①弟妹の世話55人 ②買い物、料理、掃除、洗濯 などの家事48人

4 今後の取り組み

令和4年度は、「ヤングケアラー支援対応連絡会」において次のような取り組みを行います。

- (1) 海老名市版アセスメントシートの作成
- (2) 支援対応フローの作成
- (3) 支援策の検討
- (4) 関係機関職員向け研修会の開催（10月～11月）
- (5) 虐待防止月間（11月）にてパネル展・来場者アンケートを実施（認知度調査）

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市 保健福祉部 子育て相談課 電話 046・235・4825